

47 都道府県＜食のイメージ＞調査 最新ランキング発表

**“自宅用にお取り寄せしている地域食材・食品” ランキングは、
“令和の米騒動”で『お米』が上位独占。続いて北海道『海産物』『菓子』が人気！**

バイヤーズ・ガイド（有限会社永瀬事務所 所在地：東京都中央区、代表取締役：永瀬 正彦）は全国 15,588 人の一般消費者を対象に、都道府県別に食のイメージを把握する『47 都道府県＜食のイメージ＞調査』を実施しました。この調査は、食全体から米・めん類・野菜・果実・水産物・肉類・菓子類・酒・料理など 17 カテゴリ別に、＜イメージ部門（食のイメージがある）＞、＜実食部門（この 1 年間に食べたことがある）＞、＜満足度部門（1 年間に食べた中で良い印象に残っている）＞を調べるもので、今年で 11 回目となります。『47 都道府県＜食のイメージ＞調査』について、主な結果は以下のとおりです。

【自宅用にお取り寄せしている地域食材・食品部門】

“令和の米騒動”により、お米（1 位：新潟県、2 位：北海道、3 位：秋田県）が上位を独占！

今回の調査では、自宅用にお取り寄せしている地域食材・食品について 3 つまで、自由記入形式で調査したところ、1 位『お米・ご飯』（新潟県）、2 位『お米・ご飯』（北海道）、3 位『お米・ご飯』（秋田県）、4 位『海鮮料理・海産物』（北海道）、5 位『お菓子・スイーツ』（北海道）が選出されました。まさに“令和の米騒動”が反映された形となり、続いて北海道の海産物やスイーツが人気となりました。

【イメージ部門（食のイメージがある）】

ベスト 3 は 7 年連続で、“食の宝庫 北海道”、“食い倒れ 大阪”、“食の都 福岡”

食のイメージ部門は 7 年連続で、1 位：北海道、2 位：大阪府、3 位：福岡県の順で、人気の観光地がランクイン。北海道は各カテゴリ別にみても、米、野菜、野菜加工品、果実、果実加工品、水産物、水産加工品、肉類、ハム・ソーセージ、肉類加工品、乳類、菓子、アルコール、飲料など、17 カテゴリ中 14 カテゴリで第 1 位を占めました。

【実食部門（この 1 年間に食べたことがある）】

北海道が 17 カテゴリ中 16 カテゴリで 1 位を独占

実食部門も食のイメージ部門同様、1 位：北海道、2 位：大阪府、3 位：福岡県の順となりました。北海道は各カテゴリ別にみても、米、めん類、野菜、野菜加工品、果実、果実加工品、水産物、水産加工品、肉類、ハム・ソーセージ、肉類加工品、乳類、菓子、アルコール、飲料、調味料など 17 カテゴリ中 16 カテゴリを独占。

【満足度部門（1 年間に食べた中で良い印象が残っている）】

各地域のブランド食材・特産品・地元グルメで群雄割拠の状態に！

満足度部門を各カテゴリごとにみると、北海道一強の状態は崩れて群雄割拠の状態になります。例えば、米：新潟県、めん類：香川県、果実：山梨県、果実加工品：青森県、水産加工品：宮城県、飲料：静岡県、調味料：愛知県、料理：大阪府というように、各地域のブランド食材・特産品・地元グルメは、消費者の満足度が高いことがうかがえます。

本件に関する
お問い合わせ先

バイヤーズ・ガイド（有限会社永瀬事務所 東京都中央区八丁堀 4-10-8 第 3SS ビル 901）
電子メール：info@buyersguide.jp / 電話：03-6256-9494

調査概要

● 調査名称

47 都道府県＜食のイメージ＞調査

● 調査目的

47 都道府県について、各都道府県の“食”に関するイメージや地域ブランドの認知を明らかにすることを目的として実施しました。

● 調査方法

インターネットによる調査（マクロミルモニター）

● 調査対象

全国 20 ～ 69 歳の男女

● 調査時期

2025 年 8 月 12 日～ 8 月 19 日

● 割付方法

全国の市区町村について人口規模により 30 区分に分け、さらに各区分に該当する市区町村居住者において、男女×年代 3 区分に分け、合計 180 区分に割り付けて回収数を設定し、回収しました。

● 集計方法

47 都道府県について、各都道府県の“食”に関するイメージや地域ブランドの認知を明らかにすることを目的として実施しました。

● サンプル数

15,588 件

● 表記上の注意

回答の割合（％）は、令和 2 年国勢調査市町村別人口に基づき、人口規模 30 区分×男女×年代 3 区分＝ 180 区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行い、構成比のずれを補正しています。

● データの転載について

データを転載する際には、『47 都道府県＜食のイメージ＞調査』（有限会社永瀬事務所 バイヤーズ・ガイド事業部調べ）と明記いただきますようお願い申し上げます。本調査に関する、永瀬正彦の取材も受け付けております。



『バイヤーズ・ガイド』
編集発行人
永瀬正彦

“実益（健康・便利）”を前提としながら、“感情（楽しさ・特別感）”が購入動機を強める今回の調査で最も頻出したキーワードは、「健康」「ヘルシー」「自然」「体に良い」「国産」など。かつて“健康系”は一部商品の領域でしたが、現在は“当たり前求められる基礎価値”へ移行しているようです。また、若年層（20-39 歳）では「手軽」「時短」「映える」「気分が上がる」「ワンハンド」など、“手軽・映える・楽しい”へ急速シフト。一方、高齢層（60-74 歳）は「やさしい味」「昔ながら」「馴染みがある」「安心できる」「あっさり」など“安心感”を中心に食品を評価。最も“贅沢”や“ご褒美”イメージが強かったのは「水産加工品」「菓子類」となりました。

“実益（健康・安心・便利）”を前提としながら、“感情価値（楽しさ・特別感）”が購入動機を強める二層構造に変化しているようです。

調査概要

【イメージ部門】（食のイメージがある）

ベスト3は7年連続で、“食の宝庫 北海道”、“食い倒れ 大阪”、“食の都 福岡”

【イメージ部門】は昨年に引き続き、1位：北海道、2位：大阪府、3位：福岡県、4位：沖縄県、5位：京都府というように人気の観光地がランクイン。なお北海道は各カテゴリ別にみても、米、野菜、野菜加工品、果実、果実加工品、水産物、水産加工品、肉類、ハム・ソーセージ、肉類加工品、乳類、菓子、アルコール、飲料など、17カテゴリ中14カテゴリで第1位を占めました。

2025 年 順位	
1 位 北海道	52.2%
2 位 大阪府	31.5%
3 位 福岡県	26.6%
4 位 沖縄県	18.6%
5 位 京都府	16.6%
6 位 新潟県	13.5%
7 位 愛知県	13.4%
8 位 広島県	13.1%
9 位 香川県	11.1%
10 位 東京都	11.0%
10 位 石川県	11.0%

2024 年 順位	
1 位 北海道	51.0%
2 位 大阪府	30.4%
3 位 福岡県	25.0%
4 位 沖縄県	19.7%
5 位 京都府	17.0%
6 位 愛知県	14.5%
7 位 新潟県	13.8%
8 位 広島県	13.1%
9 位 香川県	11.9%
10 位 東京都	11.8%

【実食部門】（この1年間に食べたことがある）

17 カテゴリ中、16 カテゴリで北海道が1位を独占

実食部門も食のイメージ部門同様、1位：北海道、2位：大阪府、3位：福岡県の順となりました。北海道は各カテゴリ別にみても、米、めん類、野菜、野菜加工品、果実、果実加工品、水産物、水産加工品、肉類、ハム・ソーセージ、肉類加工品、乳類、菓子、アルコール、飲料、調味料など17カテゴリ中16カテゴリを独占。まさに“食の宝庫 北海道”という圧倒的結果となりました。

2025 年 順位	
1 位 北海道	25.7%
2 位 大阪府	10.9%
3 位 福岡県	10.3%
4 位 愛知県	7.7%
5 位 京都府	7.6%
6 位 宮城県	7.4%
7 位 千葉県	7.2%
7 位 静岡県	7.2%
9 位 東京都	7.1%
10 位 長野県	7.0%

2024 年 順位	
1 位 北海道	25.9%
2 位 大阪府	10.1%
3 位 福岡県	9.1%
4 位 京都府	7.8%
5 位 愛知県	7.6%
6 位 新潟県	7.4%
7 位 長野県	7.3%
8 位 沖縄県	7.0%
9 位 東京都	6.8%
9 位 静岡県	6.8%

【満足度部門】 米

新潟県『コシヒカリ』、秋田県『あきたこまち』、北海道『ゆめぴりか』が人気
続いて【満足度部門】に目を向けてみると、米の満足度上位は北海道・東北・北信越といった米どころがしのぎを削っています。品種別に見ると新潟県の『コシヒカリ』（1,027pt）、秋田県『あきたこまち』（599pt）、北海道『ゆめぴりか』（449pt）と『ななつぼし』（236pt）、山形県『つや姫』（174pt）、宮城県『ひとめぼれ』（127pt）と続きます。

2025 年 順位	
1 位 新潟県	9.5%
2 位 北海道	7.1%
3 位 秋田県	5.1%
4 位 山形県	2.2%
5 位 宮城県	1.9%
6 位 福岡県	1.1%
7 位 福島県	0.9%
8 位 青森県	0.8%
9 位 富山県	0.7%
9 位 千葉県	0.7%
9 位 茨城県	0.7%

2024 年 順位	
1 位 新潟県	9.0%
2 位 北海道	6.9%
3 位 秋田県	5.7%
4 位 山形県	2.3%
5 位 宮城県	1.2%
6 位 福岡県	1.0%
6 位 福島県	1.0%
8 位 茨城県	0.9%
9 位 富山県	0.8%
10 位 千葉県	0.7%
10 位 青森県	0.7%
10 位 福井県	0.7%

【満足度部門】 めん類

香川県の『讃岐うどん』、福岡県と北海道の『ラーメン』が高評価

めん類の満足度は、1位：香川県、2位：福岡県、3位：北海道、4位：秋田県、5位に長崎県と長野県が同率でランクインしています。キーワード別に見ると、めん類の満足度1位の“うどん県”香川県が、『讃岐うどん』（281pt）や『うどん』（211pt）で上位を独占。めん類の満足度2位の福岡県は、ラーメンなのですが『豚骨ラーメン』（161pt）、『ラーメン』（71pt）、『博多ラーメン』（67pt）等のキーワードが分散。めん類の満足度3位の北海道も同様に、『味噌ラーメン』（50pt）、『ラーメン』（39pt）、『札幌ラーメン』（25pt）や『塩ラーメン』、『旭川ラーメン』等のキーワードが散らばりました。そして4位秋田県の『稲庭うどん』（104pt）、5位は長崎県の『長崎ちゃんぽん』（64pt）と『島原そうめん』（20pt）、長野県の『そば』（68pt）がランクインしています。

2025 年 順位	
1 位 香川県	3.7%
2 位 福岡県	2.5%
3 位 北海道	1.6%
4 位 秋田県	1.1%
5 位 長崎県	0.9%
5 位 長野県	0.9%
7 位 愛知県	0.8%
7 位 沖縄県	0.8%
9 位 兵庫県	0.7%
9 位 岩手県	0.7%
9 位 大阪府	0.7%

2024 年 順位	
1 位 香川県	4.0%
2 位 福岡県	2.4%
3 位 北海道	2.1%
4 位 沖縄県	1.1%
5 位 秋田県	1.0%
6 位 長野県	0.8%
6 位 愛知県	0.8%
8 位 岩手県	0.7%
8 位 長崎県	0.7%
8 位 兵庫県	0.7%

【満足度部門】野菜類、いも類、きのこ類

広い農地で気候風土を生かした農業を行う、産出額上位の県がランクイン

野菜類、いも類、きのこ類の満足度では、1位は広大な土地を生かして大規模農業を行う北海道、2位は温和な気候と広大で平坦な大地で生産を行う茨城県、3位は気候風土を生かした高冷地農業を行う長野県、4位は伝統ブランド野菜『京野菜』を誇る京都府と、首都圏への大量供給力と温暖気候を活かした安定生産型産地の千葉県が同率でランクインしています。

2025 年 順位	
1 位	北海道 5.4%
2 位	茨城県 1.2%
3 位	長野県 0.8%
4 位	京都府 0.7%
4 位	千葉県 0.7%
6 位	群馬県 0.6%
7 位	鹿児島県 0.5%
7 位	兵庫県 0.5%
9 位	新潟県 0.4%

2024 年 順位	
1 位	北海道 5.3%
2 位	長野県 1.3%
3 位	茨城県 1.0%
4 位	鹿児島県 0.6%
5 位	埼玉県 0.5%
5 位	京都府 0.5%
7 位	千葉県 0.4%

【満足度部門】果実類

山梨県、福島県、山形県といった“フルーツ王国”が上位を独占

果実類の満足度では、1位にブドウ・桃の山梨県、続いて桃の福島県と、さくらんぼ・ラ・フランスの山形県が同率2位。続く4位には夕張や富良野のメロンで北海道。そして5位は同率でリンゴ・ブドウの長野県、みかん・桃で和歌山県が入り、続く7位も同率でリンゴの青森県とブドウ・桃の岡山県がランクインしています。

2025 年 順位	
1 位	山梨県 2.3%
2 位	福島県 1.5%
2 位	山形県 1.5%
4 位	北海道 1.4%
5 位	長野県 1.1%
5 位	和歌山県 1.1%
7 位	青森県 1.0%
7 位	岡山県 1.0%
9 位	福岡県 0.9%
10 位	栃木県 0.8%

2024 年 順位	
1 位	山梨県 2.4%
2 位	福島県 1.8%
3 位	北海道 1.4%
3 位	山形県 1.4%
5 位	青森県 1.2%
6 位	岡山県 1.1%
6 位	長野県 1.1%
8 位	和歌山県 1.0%
9 位	福岡県 0.8%

【満足度部門】水産物（鮮魚、貝類、海藻等）

海面漁業・養殖業産出額 第1位、北海道の豊富な水産資源に舌鼓

水産物の満足度では、ホタテ（156pt）、カニ（62pt）、サケ（61pt）、ホッケ（47pt）、イクラ（59pt）、ホッケ（39pt）、ウニ（29pt）といった豊富な水産物を有する北海道が1位に。2位は同率で、ホタテ（26pt）、マグロ（16pt）で青森県、ブリ（23pt）、ホタルイカ（15pt）、白エビ（6pt）で富山県がランクイン。前回2位の静岡県は、ウナギ（21pt）、マグロ（19pt）、シラス（16pt）、金目鯛（14pt）で4位になりました。

2025 年 順位	
1 位	北海道 4.8%
2 位	青森県 1.0%
2 位	富山県 1.0%
4 位	静岡県 0.9%
5 位	高知県 0.7%
6 位	千葉県 0.6%
6 位	広島県 0.6%
8 位	宮城県 0.5%
8 位	新潟県 0.5%
8 位	福岡県 0.5%

2024 年 順位	
1 位	北海道 5.6%
2 位	静岡県 1.1%
3 位	広島県 0.7%
3 位	高知県 0.7%
5 位	富山県 0.6%
5 位	青森県 0.6%
5 位	石川県 0.6%
5 位	福岡県 0.6%
9 位	宮城県 0.5%
9 位	神奈川県 0.5%

【満足度部門】肉類（牛肉、豚肉、鶏肉等）

羊・豚・牛で北海道、神戸牛の兵庫県、牛たん宮城県がベスト3に

肉類の満足度では、ジンギスカン（51pt）、白老牛（19pt）、牛肉（14pt）、豚肉（11pt）、ラム肉（11pt）等のラインナップで北海道が昨年に引き続き1位。前回3位の兵庫県は、神戸牛（95pt）と但馬牛（18pt）、三田牛（7pt）等のブランド牛で2位にランクアップ。そして3位には、宮城県が牛たん（84pt）と仙台牛（15pt）でランクを上げ、4位には宮崎牛（62pt）と地鶏（19pt）の宮崎県と、黒豚（36pt）、黒牛（36pt）、黒毛和牛（10pt）の鹿児島県が同率ランクインしています。

2025 年 順位	
1 位	北海道 1.2%
2 位	兵庫県 1.0%
3 位	宮城県 0.9%
4 位	宮崎県 0.8%
4 位	鹿児島県 0.8%
6 位	三重県 0.7%
7 位	佐賀県 0.5%
7 位	岐阜県 0.5%
7 位	山形県 0.5%
10 位	滋賀県 0.4%
10 位	岩手県 0.4%

2024 年 順位	
1 位	北海道 1.6%
2 位	三重県 1.2%
3 位	兵庫県 1.1%
4 位	宮崎県 1.0%
5 位	宮城県 0.8%
5 位	鹿児島県 0.8%
7 位	岐阜県 0.6%
7 位	熊本県 0.6%
9 位	沖縄県 0.5%
10 位	滋賀県 0.4%
10 位	山形県 0.4%

調査概要

【満足度部門】菓子類

バリエーション豊富な北海道スイーツに、京都の和菓子が続きます

菓子類の満足度 1 位の北海道は『白い恋人』（88pt）、『六花亭』（33pt）、『マルセイバターサンド』（29pt）、『ロイズ』（26pt）、『じゃがポックル』（15pt）、『ルタオ』（13pt）等の人気スイーツが挙げられています。第 2 位は『ハッ橋』（29pt）、『生ハッ橋』（8pt）や抹茶を使った菓子・和菓子で京都府。第 3 位は『東京ばな奈』（26pt）を筆頭に、有名店のスイーツで東京都。第 4 位は『ちんすこう』（44pt）、『紅いもタルト』（22pt）、『サターアンダーギー』（13pt）で沖縄県が入っています。

2025 年 順位	
1 位 北海道	2.3%
2 位 京都府	1.0%
3 位 東京都	0.7%
4 位 沖縄県	0.5%
5 位 福岡県	0.3%
5 位 新潟県	0.3%
5 位 神奈川県	0.3%

2024 年 順位	
1 位 北海道	2.9%
2 位 東京都	0.8%
3 位 京都府	0.7%
3 位 沖縄県	0.7%
5 位 福岡県	0.5%
6 位 新潟県	0.4%
7 位 長崎県	0.3%
7 位 大阪府	0.3%
7 位 広島県	0.3%
7 位 愛知県	0.3%

【満足度部門】アルコール飲料（日本酒、ビール、ワイン等）

北海道のビール・ワイン・ウイスキー、新潟県の日本酒で夢気分

アルコール飲料の満足度では、1 位の北海道は『サッポロビール』（34pt）、『サッポロクラシック』（27pt）に加えて、道内の『ワイン』や『ウイスキー』が挙げられています。第 2 位は『日本酒』（28pt）、『越乃寒梅』（11pt）、『八海山』（8pt）で新潟県。第 3 位は『芋焼酎』（20pt）、『焼酎』（10pt）や『森伊蔵』、『黒伊佐錦』等の銘柄で鹿児島県がランクインしました。

2025 年 順位	
1 位 北海道	0.8%
2 位 新潟県	0.7%
3 位 鹿児島県	0.5%
4 位 山梨県	0.4%
4 位 沖縄県	0.4%
4 位 京都府	0.4%
7 位 長野県	0.3%
7 位 兵庫県	0.3%

2024 年 順位	
1 位 北海道	0.9%
2 位 新潟県	0.6%
2 位 沖縄県	0.6%
4 位 山梨県	0.5%
5 位 鹿児島県	0.4%
5 位 京都府	0.4%
7 位 長野県	0.3%

【満足度部門】料理

1 位は大阪の粉もん、2 位は京料理、3 位に北海道・沖縄グルメがランクイン

料理の満足度では、1 位に“食い倒れの街”大阪府の『たこ焼き』（89pt）、『お好み焼き』（51pt）等の粉もんがランクイン。2 位は『懐石料理』（12pt）、『京料理』（8pt）、『湯葉』（7pt）、『おばんざい』（6pt）等で京都府。3 位は同率で、『ゴーヤーチャンプルー』（23pt）、『沖縄そば』（16pt）等で沖縄県、『ジンギスカン』（30pt）、『海鮮丼』（8pt）等で北海道がランクインしました。

2025 年 順位	
1 位 大阪府	1.7%
2 位 京都府	0.8%
3 位 沖縄県	0.6%
3 位 北海道	0.6%
5 位 愛知県	0.5%
5 位 広島県	0.5%
7 位 東京都	0.4%
7 位 福岡県	0.4%
7 位 宮城県	0.4%

2024 年 順位	
1 位 大阪府	1.2%
2 位 北海道	0.9%
3 位 愛知県	0.7%
4 位 広島県	0.6%
4 位 沖縄県	0.6%
6 位 京都府	0.5%
7 位 福岡県	0.4%
8 位 東京都	0.3%

【自宅用にお取り寄せしている地域食材・食品部門】

猛暑・水不足が引き起こした“米パニック”

お取り寄せ市場で起きた静かな争奪戦！

今回のお取り寄せ調査では、上位 22 品目中 9 件を“米・ご飯”が占め、1 位新潟県、2 位北海道、3 位秋田県と、各地のブランド米が圧倒的支持を得た。背景にあるのは、猛暑・水不足による作況指数の悪化を受けて話題となった「令和の米騒動」である。品質低下や収量減の懸念が広がる中、「確かな産地の米を確保したい」という家庭の危機意識が、お取り寄せ需要を一気に押し上げた形だ。特に新潟県・北海道・秋田県といった“安定品質の 3 大産地”が軒並み上位となり、米の“安全資産化”とも言える動きが顕著に表れた。一方、北海道は海鮮・スイーツでも存在感を示し、総合的なブランド力を再確認させる結果に。福岡県の明太子や宮城県の牛タン、山梨県・福島県の果実など、定番名産も健在だが、今年のお取り寄せ市場の主役は明らかに「不作への備えとしての米」。米価や品質への不安が、家庭の購買行動を大きく動かした 1 年となった。

2025 年 順位	
1 位 お米・ご飯（新潟県）	272pt
2 位 お米・ご飯（北海道）	198pt
3 位 お米・ご飯（秋田県）	184pt
4 位 海鮮料理・海産物（北海道）	116pt
5 位 お菓子・スイーツ（北海道）	111pt
6 位 お米・ご飯（山形県）	93pt
7 位 ホタテ（北海道）	85pt
8 位 カニ（北海道）	72pt
9 位 明太子（福岡県）	63pt
10 位 お米・ご飯（福島県）	58pt
11 位 お米・ご飯（宮城県）	56pt
12 位 お菓子・スイーツ（東京都）	55pt
13 位 イクラ（北海道）	53pt
14 位 お米・ご飯（茨城県）	43pt
15 位 牛タン（宮城県）	41pt
15 位 桃（福島県）	41pt
17 位 モツ鍋・モツ煮（福岡県）	37pt
18 位 鮭・サーモン（北海道）	35pt
19 位 お米・ご飯（千葉県）	34pt
20 位 お米・ご飯（岩手県）	32pt
20 位 りんご（青森県）	32pt
20 位 桃（山梨県）	32pt

データを転載する際には、『47 都道府県〈食のイメージ〉調査』（有限会社永瀬事務所 バイヤーズ・ガイド事業部調べ）と明記いただきますようお願い申し上げます。